



「人と自然にやさしい空港」をめざして



環境の取り組み PR 展示を行います！

日本初 IATA Environment Stand の設置

関西国際空港旅客ターミナルビル4階翼の広場において、1月21日より国際航空運送協会(IATA)が製作した航空業界の環境の取り組みを立体展示や映像によりお客様に紹介するスタンド(Environment Stand)を設置します。このスタンドは、ヨーロッパを皮切りにクアラルンプール、シンガポールなど世界各国の空港で順番に設置されてきました。日本では関西国際空港が初めての設置場所になります。

また、このスタンド設置にあわせて「人と自然にやさしい空港」を目指す関西国際空港の環境の取り組みについてもテレビモニターで紹介いたします。

上記の展示は「IATA × KIX ENVIRONMENT EXHIBITION」として3月上旬まで開催いたします。

展示期間：2011年1月21日(金)~3月上旬(予定)

展示場所：関西国際空港 旅客ターミナルビル4階 翼の広場

展示内容

Environment Standにより航空業界におけるCO₂排出量削減等への取り組みを紹介いたします。(詳細は別紙)

- ・ 着陸時のCO₂排出量削減について
- ・ 最適な飛行経路や効率的な運航によるCO₂排出量削減について
- ・ バイオ燃料などの新技術について 等

テレビモニターにより関西国際空港の環境の取り組みを紹介いたします。

- ・ 航空機騒音測定結果について
- ・ GPU(固定動力施設)の利用促進やクリーンエネルギーの導入によるCO₂排出量削減について
- ・ 水資源や廃棄物のリサイクルについて
- ・ 空港島周辺の藻場づくりや空港島緑化の推進について 等

なお、展示初日には、以下のとおりオープニングセレモニーを開催いたします。

日時：2011年1月21日(金)9時30分~10時頃

場所：関西国際空港 旅客ターミナルビル4階 翼の広場

参加者：国際航空運送協会(IATA)

アジア太平洋地区本部 政府・業界担当 部長 ビヌーブ・ゴエル

アジア太平洋地区本部 広報担当 部長 アルバート・チョン

関西国際空港 航空会社運営協議会議長

(ユナイテッド航空会社関西国際空港支配人) 阪口 葉子 (敬称略)

関西国際空港株式会社 専務取締役 伊藤 誠

内容：除幕式・点灯式

IATA の環境への取り組みについて

航空機からのCO₂排出量は全世界からの2%を占めています。そこでIATAではこれらの問題解決のため、2009年6月に以下のようなCO₂排出量削減の目標を立て、啓蒙活動に取り組んでいます。

【IATAの目標】

- ・ 2020年より航空機のCO₂排出に上限を設ける（カーボンニュートラルの普及）
- ・ 2009年から2020年の間で、年間1.5%燃料効率を改善する
- ・ 2050年までに、2005年と比較して50%排出量を削減する

今回は、航空機のエンジンをイメージした「Environment Stand」で、動力飛行の発明から現代までの航空機の歴史に触れ、さらに科学技術、オペレーションやインフラ等に焦点をあてたIATAの環境に対する戦略の概要について紹介しています。

展示内容：

- CO₂排出量を着陸一回につき最大で630kg低減する取り組みについて
- 航空機内重量の低減について
(1フライトにつき重量を1kg減らすと、年間1.7億kgの燃料を節約することができます)
- 最適な飛行経路や効率的な運航を通してCO₂排出量を低減するIATAの取り組みについて
(この取り組みにより2004年以降およそ7千万トンのCO₂排出量の削減に成功しました)

また、この「Environment Stand」は藻類を主成分としたバイオ燃料、太陽光発電、燃料電池などの新技術についても紹介しており、これらの新技術が今後50年間にCO₂排出ゼロの航空機の開発にとって、新たな一歩となることが期待されます。

【外観イメージ】

